

ナカラ回廊市民社会調整メカニズム (MCSC)

ワークショップ・アジェンダ

2017年3月14日、マプート

<仮訳>

アジェンダ:

1. プロサバンナ・マスタープラン見直しの活動の進行状況を評価する
2. メカニズムのパートナー（農業省・JICA・ABC）との関係におけるパフォーマンスを評価する
3. マスタープランの見直しにおける「プロサバンナにノー」キャンペーンに参加する諸団体を含めたすべての関係者の「関与」の度合い（レベル）を評価する
4. マスタープランの最終化のためのプラン：
 - コミュニティ・コンサルテーションのための新しい行程と手法を定義する
 - ラウンドテーブルのための手法と行程を定義する
 - 「プロサバンナにノー」キャンペーンに参加する諸団体を含む関係者や関係アクターに対してどのように協議するかモデルを定義する
 - プロサバンナのマスタープランのコンセンサス文書を最終化する
5. その他

プログラム:

8:30-8:40 : Antonio Mutoua :

ウェルカム、参加者の紹介、ワークショップの目的の確認

8:40-9:00 : ANtonio Mutoua :

プロサバンナのマスタープランの見直し活動の進行状況の評価:

- コミュニティ・コンサルテーションの実施のための派遣団の準備状況の確認
- ラウンドテーブルの実現のための準備状況（TORの改善）
- E&Yのコンサルタントの関与

9:00-10:00 : Augusto Basilio :

パートナー（MASA、JICA、ABC）との関係やメカニズムのパフォーマンスの評価

- メカニズムの構造とその機能の紹介
- 改善のための側面の指摘

10:30-11:00 : Jeronimo Napido :

マスタープラン見直しにおける「プロサバンナにノー」キャンペーンに参加する諸団体

を含む関係者全員の「関与」の度合いの評価

- ・ 見直しに参加している団体はどれか？
- ・ 「プロサバンナにノー」団体の関与はどのような形でなされているのか？（どのように意見を得ているのか？）

11:00-13:30 : Almeida Siteo

マスタープランの最終化のためのプラン

- ・ コミュニティ・コンサルテーションのための新しい行程と手法を定義する
- ・ ラウンドテーブルのための手法と行程を定義する
- ・ 「プロサバンナにノー」キャンペーンに参加する諸団体を含む関係者や関係アクターに対してどのように協議するかモデルを定義する
- ・ プロサバンナのマスタープランのコンセンサス文書を最終化する

参加者

<<勝手に団体名や名前が書かれています>>

招待者：

- ・ Antonio Limbau - MASA
- ・ Joao Nyaima - MASA
- ・ Bruno Neves - ブラジル大使館
- ・ Sheila Matavel - ブラジル大使館
- ・ 横山浩士 - JICA
- ・ 須藤勝義 - JICA
- ・ Eduardo Costa - JICA HQ